

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査 結果分析票

学校名：志木市立志木第二小学校 第6学年			
項目	成果	課題	改善策
国語A	すべての領域において、県平均を超えており、概ね理解している。 ◎「話す・聞く能力」について、スピーチ活動に取り組み、目的や意図に応じ事柄を整理してきたことが成果を上げた。 ◎書く力において、A・B問題共に安定した力が発揮できた。校内研修での授業研究や業前活動「作文・ことばの時間」で柱立てして作文する取組が成果を上げた。	①書き手の表現をより良くするために助言する。効果的な表現の理解。 ②「平仮名で表記されたものをローマ字で書く」について、全国平均を超えたものの十分な理解とはいえない。	①意図や目的に応じた効果的な表現について、校内研修や授業での作文指導、業前「作文・ことばの時間」などにより取り組む。 ②4学年の学習について十分な復習をし、類似問題を解くようにする。
国語B	すべての領域において、県平均を超えており、概ね理解している。 ◎「読む能力」について、並行読書やリーフレット作成など目的意識をもたせた活動が成果を上げた。 ◎書く力において、A・B問題共に安定した力が発揮できた。校内研修での授業研究や業前活動「作文の時間」柱立てして作文する取組が成果を上げた。	①「質問の意図を捉え話す・聞く能力」 ②「グラフを基にわかったことを的確に書く力」について県平均を下回った。	①スピーチやグループでの話し合い活動にも質疑応答の機会を多く設ける ②社会や理科など教科横断的に資料を活用した問題解決学習に取り組ませる。 また、校内研修(国語科)でモデル文等を活用した授業により、効果的に書く力をつけさせるよう授業改善を図る。
算数 数学A	すべての領域において、県平均を超えており、概ね理解している。 ◎「数量や図形への技能、知識・理解」について、少人数指導や問題解決学習を通じた算数的活動の取組が成果を上げた。 ◎四則計算など概ねできている。	①小数の割り算(筆算)の仕組みについて、全国平均を上回ったが意味を十分に理解していない児童が見られる。 ②割合について、基準量と比較量への理解が不十分な児童が見られる。	①②少人数指導で個に応じた指導について、一層の充実を図り、筆算の意味を重点的に押さえる。また、基準量と比較量について、テープ図や数直線などを用いて理解できるように授業を工夫する。
算数 数学B	すべての領域において、県平均を超えており、概ね理解している。 ◎内接円の半径を求める。 ◎図形を変形させることによる面積の変化。について、既習事項を活用して問題解決をさせる授業への取組が成果を上げた。	全国平均を概ね上回っているものの、数学的思考力を一層高める余地がある。 ①式の中の数値の意味を解釈すること。②式の意味の読み取り③図形を構成する角の大きさの活用	①②問題解決学習により、授業の練り上げや適用問題等で式や数値の意味を考える活動を多く取り入れる。 ③タングラムや作図など図形の構成について十分ふれさせるとともに、定義をしっかりと押さえる授業を工夫する。
児童 生徒 質問 紙	◎きまりや約束を守る。 ◎物事を最後までやりとげる。 ◎最後まで人の話を聞く。 について、全国平均より高い数値であり、概ねできている。 日頃の生活指導や生徒指導で学校教育目標を月の生活目標を意識させた取組が成果を上げた。	①難しいことに失敗を恐れずに挑戦すること。 ②自分の考えや意見を人前で発表すること。 ③将来の夢や目標を持つこと。 について全国平均を下回った。人目を気にすること、自分に自信が持てないことが課題といえる。	①②授業や特別活動等で一人一人に活躍の機会を十分に与え、成功体験を持たせる。 ③道徳や特別活動、小中連携事業を生かしてキャリア教育の更なる充実を図る。